

2024年9月18日  
株式会社日本政策金融公庫

**令和6年上半期農業景況DIは、やや改善するもマイナス値が継続**

**～肉用牛で大幅なマイナス値、生産コスト高は全業種で継続～**

＜農業景況調査（令和6年7月調査）＞

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、融資先の担い手農業者を対象に「農業景況調査（令和6年7月調査）」を実施しました。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

**＜農業景況DI（令和6年上半期実績、通年見通し）＞**

- 令和6年上半期の農業景況DI（▲21.5）は、令和5年実績から5.4ポイント上昇するも、マイナス値が継続する結果となりました。また、業種別では全業種マイナス値となっており、肉用牛（▲59.6）で最低値となりました。
- 令和6年通年見通し（▲16.6）は、令和6年上半期から4.9ポイント上昇するも、マイナス値が継続する見込みとなりました。

**＜生産コストDI（令和6年上半期実績）＞**

- 令和6年上半期の生産コストDI（▲80.6）は令和5年実績から4.0ポイント上昇するも、依然として大幅なマイナス値が継続しました。また、全業種で▲60.0以下のマイナス値となりました。

**＜設備投資予定＞**

- 令和6年に「設備投資予定あり」とする比率（52.8%→53.2%）は、ほぼ横ばいで推移しました。特に耕種では稲作（都府県：62.1%）、畜産では養豚（55.1%）が最も高くなりました。一方で、酪農（北海道：40.7%）、肉用牛（40.4%）、ブロイラー（39.3%）は4割程度と他業種に比べて低くなりました。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

# 農業景況調査（令和6年7月）

～農業の景況について～

～目次～

農業の景況 ..... P3 ～ 7

## ○調査概要

- 調査時期:令和6年7月
- 調査方法:往復はがきによる郵送アンケート及びインターネット併用調査
- 調査対象:スーパーL資金又は農業改良資金等のご融資先のうち21,275先
- 有効回答数:5,582先(回収率26.2%)

(内訳)

稲作(北海道):448、稲作(都府県):1,425、畑作:393、露地野菜:513  
施設野菜:551、茶:87、果樹:320、施設花き:171、きのこ:66、  
酪農(北海道):234、酪農(都府県):228、肉用牛:439、養豚:205、  
採卵鶏:113、ブロイラー:86、その他:303

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部(担当:高田、垣尾)TEL:03-3270-5585

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

# 農業の景況(景況DI、収支DI)

- ・令和6年上半期(1～6月)の農業景況DI(▲26.9→▲21.5)は令和5年実績から5.4ポイント上昇するも、マイナス値が継続。業種別では全業種マイナス値となっており、肉用牛(▲52.1→▲59.6)で大幅なマイナス値となった。
- ・令和6年通年見通し(▲21.5→▲16.6)は令和6年上半期から4.9ポイント上昇するも、マイナス値が継続。
- ・収支DI(▲32.1→▲24.8)は令和5年実績から7.3ポイント上昇するも、マイナス値が継続。

## 1. 景況DI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 上半期実績	R6年 通年見通し
農業全体	▲ 33.7	16.8	20.0	21.2	▲ 11.1	6.0	▲ 24.9	▲ 29.6	▲ 39.1	▲ 26.9	▲ 21.5	▲ 16.6
稲作(北海道)	▲ 67.2	20.1	▲ 4.9	39.7	▲ 51.8	26.5	▲ 3.6	▲ 55.2	▲ 44.3	▲ 49.3	▲ 37.4	▲ 33.4
稲作(都府県)	▲ 71.0	▲ 3.8	23.6	10.3	▲ 10.7	11.4	▲ 33.4	▲ 55.9	▲ 39.5	▲ 22.1	▲ 18.0	▲ 1.8
畑作	▲ 5.3	35.2	▲ 17.6	34.8	▲ 22.7	31.6	▲ 32.3	0.2	▲ 31.8	▲ 49.2	▲ 36.7	▲ 44.7
露地野菜	▲ 15.7	14.3	14.7	7.5	▲ 3.4	▲ 9.3	▲ 32.8	▲ 21.4	▲ 15.5	▲ 17.5	▲ 4.8	▲ 4.3
施設野菜	▲ 8.4	20.3	26.3	15.0	▲ 1.4	▲ 22.4	▲ 28.1	▲ 32.3	▲ 28.8	▲ 11.7	▲ 5.3	▲ 3.1
茶	▲ 55.0	▲ 53.1	11.1	26.5	▲ 14.5	▲ 53.1	▲ 78.0	▲ 0.9	▲ 15.5	▲ 31.2	▲ 29.9	▲ 18.8
果樹	▲ 12.7	11.5	25.6	21.8	20.6	7.5	▲ 16.8	11.9	▲ 7.7	▲ 2.7	▲ 8.4	▲ 9.4
施設花き	▲ 34.4	▲ 5.9	11.8	▲ 10.6	▲ 13.7	▲ 20.2	▲ 40.2	5.8	▲ 3.2	▲ 19.5	▲ 34.5	▲ 32.9
きのこ	▲ 20.7	15.2	1.1	▲ 2.5	▲ 21.0	▲ 23.2	3.0	▲ 40.8	▲ 59.8	▲ 7.7	▲ 12.1	▲ 21.2
酪農(北海道)	▲ 4.1	55.9	57.6	44.8	25.0	30.3	▲ 19.3	▲ 32.8	▲ 87.7	▲ 56.8	▲ 14.6	▲ 18.5
酪農(都府県)	▲ 30.9	29.3	52.2	12.6	2.5	8.4	▲ 16.4	▲ 39.5	▲ 84.8	▲ 45.7	▲ 16.3	▲ 12.0
肉用牛	▲ 1.2	48.5	50.3	17.5	4.7	▲ 0.2	▲ 43.9	▲ 3.1	▲ 62.0	▲ 52.1	▲ 59.6	▲ 51.4
養豚	67.5	48.8	26.2	59.4	▲ 27.2	▲ 4.1	44.3	▲ 36.4	▲ 74.2	▲ 31.7	▲ 9.3	6.4
採卵鶏	28.6	71.0	40.8	32.7	▲ 61.2	▲ 38.9	▲ 43.8	22.6	▲ 65.4	65.1	▲ 56.7	▲ 65.5
ブロイラー	10.4	51.9	27.4	55.3	15.9	14.7	6.4	▲ 2.1	▲ 41.1	▲ 14.7	▲ 16.3	▲ 23.5

※景況DIは農業経営が「良くなった・良くなる」とする構成比(%)から「悪くなった・悪くなる」とする構成比(%)を差し引いたもの

## 2. 収支DI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 上半期実績
農業全体	▲ 39.7	14.2	16.7	14.7	▲ 20.1	▲ 1.5	▲ 27.6	▲ 35.1	▲ 43.1	▲ 32.1	▲ 24.8
稲作(北海道)	▲ 72.4	21.3	▲ 13.7	43.0	▲ 63.3	17.9	▲ 1.8	▲ 57.6	▲ 50.3	▲ 51.0	▲ 53.7
稲作(都府県)	▲ 76.7	▲ 6.5	23.8	2.2	▲ 18.8	4.5	▲ 38.5	▲ 60.5	▲ 43.5	▲ 29.1	▲ 24.8
畑作	▲ 13.8	33.9	▲ 24.7	28.1	▲ 27.5	29.0	▲ 37.4	▲ 3.0	▲ 36.5	▲ 54.3	▲ 43.7
露地野菜	▲ 23.6	5.7	13.1	▲ 0.9	▲ 14.8	▲ 18.4	▲ 36.9	▲ 27.3	▲ 19.8	▲ 24.9	▲ 3.4
施設野菜	▲ 19.5	15.3	20.3	5.6	▲ 11.8	▲ 27.2	▲ 29.2	▲ 39.3	▲ 34.6	▲ 17.4	▲ 9.8
茶	▲ 59.0	▲ 52.4	8.1	25.8	▲ 16.1	▲ 54.0	▲ 76.3	▲ 5.4	▲ 22.1	▲ 40.7	▲ 20.3
果樹	▲ 20.3	6.3	19.3	12.0	7.4	▲ 4.9	▲ 25.3	4.9	▲ 13.2	▲ 13.8	▲ 16.8
施設花き	▲ 39.2	▲ 8.1	9.1	▲ 24.6	▲ 22.0	▲ 22.3	▲ 38.2	7.3	▲ 11.2	▲ 25.2	▲ 39.8
きのこ	▲ 17.1	11.4	▲ 1.0	▲ 3.8	▲ 24.7	▲ 30.5	4.4	▲ 46.3	▲ 57.3	▲ 3.8	▲ 13.3
酪農(北海道)	▲ 12.6	55.5	57.0	36.8	7.4	17.6	▲ 24.3	▲ 45.9	▲ 86.3	▲ 58.6	▲ 17.1
酪農(都府県)	▲ 34.3	25.4	48.4	1.7	▲ 3.3	▲ 3.6	▲ 14.5	▲ 45.9	▲ 86.7	▲ 45.2	▲ 12.9
肉用牛	▲ 7.6	50.8	48.6	7.0	▲ 4.1	▲ 7.3	▲ 48.4	▲ 12.3	▲ 64.4	▲ 55.7	▲ 57.6
養豚	69.9	50.2	19.1	57.9	▲ 34.9	▲ 7.8	47.0	▲ 43.1	▲ 66.0	▲ 30.7	▲ 10.1
採卵鶏	31.3	63.0	44.8	31.9	▲ 62.8	▲ 46.0	▲ 40.6	14.7	▲ 68.3	58.5	▲ 54.6
ブロイラー	6.0	42.3	29.1	55.3	4.3	5.4	8.9	▲ 5.2	▲ 44.2	▲ 22.4	▲ 21.1

※収支DIは収支実績が「良くなった」とする構成比(%)から「悪くなった」とする構成比(%)を差し引いたもの

# 農業の景況(天気図)

業種	令和5年 実績	令和6年 上半期実績	令和6年 通年見通し	業種	令和5年 実績	令和6年 上半期実績	令和6年 通年見通し
農業全体	▲ 26.9	▲ 21.5	▲ 16.6	施設花き	▲ 19.5	▲ 34.5	▲ 32.9
稲作(北海道)	▲ 49.3	▲ 37.4	▲ 33.4	きのこ	▲ 7.7	▲ 12.1	▲ 21.2
稲作(都府県)	▲ 22.1	▲ 18.0	▲ 1.8	酪農(北海道)	▲ 56.8	▲ 14.6	▲ 18.5
畑作	▲ 49.2	▲ 36.7	▲ 44.7	酪農(都府県)	▲ 45.7	▲ 16.3	▲ 12.0
露地野菜	▲ 17.5	▲ 4.8	▲ 4.3	肉用牛	▲ 52.1	▲ 59.6	▲ 51.4
施設野菜	▲ 11.7	▲ 5.3	▲ 3.1	養豚	▲ 31.7	▲ 9.3	6.4
茶	▲ 31.2	▲ 29.9	▲ 18.8	採卵鶏	65.1	▲ 56.7	▲ 65.5
果樹	▲ 2.7	▲ 8.4	▲ 9.4	ブロイラー	▲ 14.7	▲ 16.3	▲ 23.5

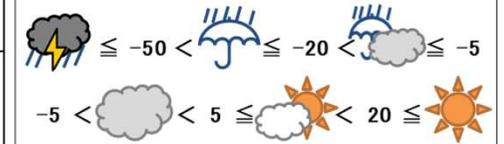
調査様式  
農業経営の業況は  
1:良くなった 2:変わらない 3:悪くなった

今年(令和6年)の経営見通しは  
1:良くなる 2:変わらない 3:悪くなる

(注1) DI(Diffusion Index = 動向指数)について  
DIは、前年と比較して、「良くなった」の  
構成比から「悪くなった」の構成比を  
差し引いたもの。

(注2) DI値に2.5以上の差異がある場合は  
上向き又は下向き矢印。2.4以内の場合は  
平行矢印。

(凡例)



# 農業の景況(資金繰りDI、販売単価DI)

- ・令和6年上半期の資金繰りDI (▲26.4→▲24.5)は令和5年実績から1.9ポイント上昇した。令和6年通年見通し(▲24.5→▲27.7)は令和6年上半期から3.2ポイント低下し、マイナス値が拡大する見込み。業種別では特に肉用牛(▲43.9→▲52.1)で大幅なマイナス値となった。
- ・令和6年上半期の販売単価DI(10.6→6.2)は令和5年実績から4.4ポイント低下したものの、プラス値を維持している。業種別では特に養豚(19.2→63.7)で大幅なプラス値となった。

## 3. 資金繰りDI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 上半期実績	R6年 通年見通し
農業全体	▲29.2	7.6	15.5	15.5	▲4.7	0.4	▲16.3	▲24.7	▲37.2	▲26.4	▲24.5	▲27.7
稲作(北海道)	▲52.4	8.2	▲2.5	23.8	▲30.4	7.9	▲1.5	▲40.4	▲40.4	▲38.4	▲35.4	▲41.7
稲作(都府県)	▲59.2	▲10.7	13.5	7.3	▲5.9	4.9	▲22.0	▲41.6	▲34.6	▲24.9	▲21.1	▲19.4
畑作	▲10.4	19.9	▲3.3	23.3	▲5.3	14.7	▲15.4	▲3.7	▲26.6	▲37.5	▲31.5	▲44.4
露地野菜	▲14.2	2.3	14.2	2.7	▲6.4	▲13.5	▲27.6	▲21.3	▲22.6	▲22.8	▲15.6	▲17.3
施設野菜	▲10.6	16.0	19.8	11.5	0.8	▲19.3	▲25.2	▲31.0	▲33.7	▲18.9	▲19.9	▲18.3
茶	▲43.7	▲41.3	4.3	20.2	▲8.0	▲40.5	▲48.3	▲5.3	▲27.8	▲23.9	▲29.9	▲34.5
果樹	▲14.8	1.4	14.7	8.6	8.9	2.0	▲11.8	4.2	▲13.5	▲10.8	▲14.7	▲20.8
施設花き	▲34.4	▲6.8	7.3	▲5.9	▲6.9	▲15.2	▲32.9	7.3	▲18.6	▲25.3	▲42.1	▲40.2
きのこ	▲29.3	10.1	1.0	7.5	▲24.7	▲29.0	▲6.0	▲24.7	▲64.6	▲20.5	▲24.2	▲37.9
酪農(北海道)	▲6.3	39.2	45.7	36.3	21.1	24.9	▲12.0	▲30.3	▲75.6	▲48.1	▲21.4	▲28.2
酪農(都府県)	▲26.2	26.5	42.1	16.4	5.4	1.6	▲6.7	▲41.9	▲80.6	▲42.2	▲21.9	▲25.9
肉用牛	▲6.1	27.8	34.6	16.9	8.7	0.7	▲25.6	▲8.4	▲55.4	▲43.9	▲52.1	▲52.5
養豚	59.3	45.0	32.4	55.6	▲7.1	2.3	37.7	▲24.5	▲61.4	▲28.5	▲13.6	▲16.1
採卵鶏	26.8	56.0	44.8	31.1	▲30.2	▲28.6	▲32.3	15.6	▲47.5	59.3	▲28.3	▲42.5
ブロイラー	3.0	38.5	29.1	50.0	27.6	17.4	5.0	1.1	▲30.5	▲15.8	▲17.4	▲27.1

※資金繰りDIは資金繰りが「楽になった」とする構成比(%)から「厳しくなった(苦しくなった)」とする構成比(%)を差し引いたもの

## 4. 販売単価DI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 上半期実績
農業全体	▲40.0	13.1	26.1	24.3	2.1	▲6.9	▲42.2	▲42.6	▲6.4	10.6	6.2
稲作(北海道)	▲88.6	10.1	19.9	54.4	▲5.9	▲2.4	▲48.3	▲83.5	▲15.7	16.4	▲1.0
稲作(都府県)	▲88.2	7.0	33.4	36.0	16.9	13.4	▲64.9	▲83.9	▲6.5	23.1	9.9
畑作	▲30.5	▲15.4	▲3.5	▲2.1	▲1.9	▲8.6	▲57.5	▲15.5	▲11.2	▲22.8	▲11.4
露地野菜	▲33.5	▲10.0	16.5	▲7.8	0.8	▲43.1	▲42.2	▲29.4	▲8.5	8.7	16.4
施設野菜	▲32.8	▲0.6	26.0	8.7	▲11.6	▲31.2	▲34.4	▲43.1	▲5.9	8.3	22.5
茶	▲64.0	▲59.4	▲1.3	18.1	▲41.1	▲63.5	▲78.0	▲5.3	▲16.4	▲23.0	▲24.7
果樹	▲25.4	10.9	34.9	28.0	15.0	15.7	3.1	16.5	11.4	30.1	28.1
施設花き	▲47.0	▲15.4	7.3	▲28.6	▲23.3	▲25.3	▲48.0	15.2	34.6	20.7	▲23.1
きのこ	▲22.0	▲6.4	▲18.2	▲11.3	▲39.6	▲46.4	▲4.5	▲55.6	0.0	38.4	32.2
酪農(北海道)	59.3	85.9	79.3	67.8	47.6	33.0	▲37.8	▲53.2	▲62.7	12.4	35.6
酪農(都府県)	23.0	61.7	50.7	14.4	17.6	34.2	▲23.7	▲36.5	2.9	40.3	22.0
肉用牛	46.4	85.8	76.4	17.1	20.4	▲21.5	▲62.6	▲4.3	▲45.1	▲52.9	▲60.9
養豚	84.1	26.9	▲15.1	63.6	▲55.0	▲24.5	52.8	▲21.8	36.9	19.2	63.7
採卵鶏	53.6	74.0	▲12.0	1.7	▲66.7	▲53.2	▲57.5	32.0	83.9	83.6	▲60.4
ブロイラー	10.4	28.8	▲9.7	37.5	▲11.6	▲28.3	5.1	▲1.0	15.8	10.5	6.6

※販売単価DIは生産物の販売価格が「上昇した」とする構成比(%)から「下落した」とする構成比(%)を差し引いたもの

# 農業の景況(生産コストDI、雇用状況DI)

- ・生産コストDI(▲84.6→▲80.6)は令和5年実績から4.0ポイント上昇したものの、大幅なマイナス値が継続。また、全業種で▲60.0以下の大幅なマイナス値となった。
- ・雇用状況DI(▲37.6→▲37.2)は令和5年実績から横ばいながらマイナス値が継続。

## 5. 生産コストDI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 上半期実績
農業全体	▲ 66.3	▲ 44.7	▲ 19.1	▲ 25.2	▲ 37.1	▲ 38.8	▲ 36.2	▲ 68.1	▲ 88.3	▲ 84.6	▲ 80.6
稲作(北海道)	▲ 69.0	▲ 44.1	▲ 24.2	▲ 18.8	▲ 36.9	▲ 40.4	▲ 33.7	▲ 67.5	▲ 89.6	▲ 90.6	▲ 85.9
稲作(都府県)	▲ 53.2	▲ 36.5	▲ 11.5	▲ 11.2	▲ 18.2	▲ 19.3	▲ 30.8	▲ 56.3	▲ 82.7	▲ 80.3	▲ 75.8
畑作	▲ 78.2	▲ 63.7	▲ 32.6	▲ 28.4	▲ 38.5	▲ 45.6	▲ 41.5	▲ 63.2	▲ 88.5	▲ 90.5	▲ 89.8
露地野菜	▲ 67.5	▲ 56.8	▲ 28.9	▲ 40.0	▲ 46.3	▲ 53.1	▲ 44.7	▲ 67.9	▲ 90.2	▲ 85.9	▲ 83.4
施設野菜	▲ 63.4	▲ 41.0	▲ 26.5	▲ 39.9	▲ 49.0	▲ 57.6	▲ 46.0	▲ 78.9	▲ 88.7	▲ 85.2	▲ 88.0
茶	▲ 72.5	▲ 30.1	▲ 11.1	▲ 32.2	▲ 46.7	▲ 51.6	▲ 25.4	▲ 71.7	▲ 86.0	▲ 85.4	▲ 85.1
果樹	▲ 67.0	▲ 48.4	▲ 31.3	▲ 37.3	▲ 39.0	▲ 48.1	▲ 40.2	▲ 55.1	▲ 83.2	▲ 81.5	▲ 80.6
施設花き	▲ 72.8	▲ 33.5	▲ 21.9	▲ 48.6	▲ 53.5	▲ 55.7	▲ 40.2	▲ 87.0	▲ 93.1	▲ 91.2	▲ 92.4
きのこ	▲ 74.4	▲ 43.0	▲ 22.4	▲ 28.8	▲ 59.2	▲ 56.6	▲ 44.8	▲ 76.5	▲ 91.5	▲ 87.2	▲ 84.9
酪農(北海道)	▲ 80.4	▲ 46.4	▲ 4.9	▲ 35.2	▲ 48.2	▲ 37.1	▲ 45.4	▲ 81.0	▲ 95.1	▲ 88.5	▲ 81.2
酪農(都府県)	▲ 83.6	▲ 46.6	▲ 0.7	▲ 32.9	▲ 40.4	▲ 46.6	▲ 38.5	▲ 81.4	▲ 95.6	▲ 75.2	▲ 66.7
肉用牛	▲ 81.9	▲ 63.1	▲ 37.3	▲ 41.3	▲ 46.7	▲ 37.4	▲ 30.9	▲ 80.8	▲ 91.7	▲ 87.3	▲ 79.3
養豚	▲ 59.8	▲ 17.7	16.9	12.1	▲ 37.0	▲ 24.7	▲ 19.1	▲ 85.7	▲ 97.5	▲ 79.2	▲ 63.9
採卵鶏	▲ 78.6	▲ 32.0	11.2	▲ 12.0	▲ 49.6	▲ 46.9	▲ 41.7	▲ 83.4	▲ 93.5	▲ 83.7	▲ 76.1
ブロイラー	▲ 59.7	▲ 44.2	▲ 4.8	▲ 16.1	▲ 23.2	▲ 28.0	▲ 20.3	▲ 63.2	▲ 88.4	▲ 77.8	▲ 76.8

※生産コストDIは生産の費用(コスト)が「下がった」とする構成比(%)から「上がった(コスト増)」とする構成比(%)を差し引いたもの

## 6. 雇用状況DI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 上半期実績
農業全体	-	▲ 26.3	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 34.7	▲ 34.9	▲ 32.0	▲ 35.6	▲ 37.0	▲ 37.6	▲ 37.2
稲作(北海道)	-	▲ 26.7	▲ 35.6	▲ 39.0	▲ 41.2	▲ 36.9	▲ 38.4	▲ 36.4	▲ 40.8	▲ 39.7	▲ 35.8
稲作(都府県)	-	▲ 18.8	▲ 27.3	▲ 27.8	▲ 27.6	▲ 29.5	▲ 28.4	▲ 29.7	▲ 36.0	▲ 37.5	▲ 40.2
畑作	-	▲ 33.6	▲ 40.8	▲ 45.0	▲ 40.9	▲ 42.7	▲ 37.5	▲ 41.2	▲ 41.4	▲ 40.9	▲ 39.8
露地野菜	-	▲ 34.9	▲ 41.5	▲ 43.4	▲ 36.7	▲ 38.2	▲ 36.2	▲ 39.0	▲ 36.8	▲ 35.5	▲ 36.7
施設野菜	-	▲ 24.1	▲ 30.8	▲ 33.0	▲ 30.9	▲ 30.1	▲ 24.9	▲ 34.6	▲ 29.8	▲ 33.4	▲ 34.1
茶	-	▲ 26.6	▲ 30.8	▲ 37.7	▲ 40.7	▲ 39.5	▲ 29.7	▲ 36.3	▲ 36.2	▲ 36.1	▲ 43.7
果樹	-	▲ 25.6	▲ 32.0	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 36.0	▲ 31.6	▲ 37.4	▲ 41.8	▲ 43.0	▲ 44.7
施設花き	-	▲ 26.8	▲ 31.6	▲ 34.4	▲ 31.8	▲ 29.9	▲ 26.7	▲ 41.0	▲ 31.4	▲ 28.9	▲ 27.8
きのこ	-	▲ 26.6	▲ 37.6	▲ 41.2	▲ 42.0	▲ 42.0	▲ 34.9	▲ 49.4	▲ 40.7	▲ 45.5	▲ 40.9
酪農(北海道)	-	▲ 40.4	▲ 45.0	▲ 52.5	▲ 44.1	▲ 38.7	▲ 31.9	▲ 42.1	▲ 39.8	▲ 38.5	▲ 38.1
酪農(都府県)	-	▲ 25.8	▲ 28.0	▲ 27.6	▲ 26.3	▲ 35.3	▲ 27.5	▲ 35.9	▲ 31.7	▲ 34.3	▲ 26.3
肉用牛	-	▲ 24.7	▲ 28.7	▲ 34.3	▲ 32.4	▲ 32.9	▲ 33.2	▲ 31.6	▲ 33.4	▲ 37.4	▲ 37.0
養豚	-	▲ 35.6	▲ 44.5	▲ 44.3	▲ 32.7	▲ 29.8	▲ 26.3	▲ 36.0	▲ 35.3	▲ 34.6	▲ 30.2
採卵鶏	-	▲ 31.0	▲ 43.2	▲ 47.4	▲ 41.1	▲ 38.9	▲ 33.3	▲ 41.8	▲ 47.6	▲ 42.3	▲ 37.2
ブロイラー	-	▲ 15.4	▲ 21.4	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 37.4	▲ 21.8	▲ 34.7	▲ 29.8	▲ 32.3	▲ 20.9

※雇用状況DIは雇用状況の実績が「過剰である」とする構成比(%)から「不足である」とする構成比(%)を差し引いたもの

# 農業の景況(設備投資ありの比率、設備投資額)

- ・令和6年に「設備投資予定あり」とする比率(52.8%→53.2%)は、令和5年からほぼ横ばいで推移した。特に耕種では稲作(都府県:62.1%)、畜産では養豚(55.1%)が最も高くなった。
- ・酪農(北海道:40.7%)、肉用牛(40.4%)、ブロイラー(39.3%)は4割程度と他業種に比べて低くなった。
- ・「設備投資予定あり」と回答した先のうち、45.5%が昨年に比べ設備投資額が「増加する」と回答している。

## 7. 設備投資予定ありの比率

【単位:%】

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
農業全体	47.6	47.5	52.9	56.1	57.1	54.9	57.3	58.6	51.9	52.8	53.2
稲作(北海道)	50.6	43.3	48.5	51.2	58.9	56.3	63.8	63.8	54.7	51.5	54.8
稲作(都府県)	52.3	46.8	53.9	58.9	62.1	59.7	62.1	61.7	56.9	60.0	62.1
畑作	46.1	49.4	58.3	60.5	59.9	60.4	67.9	60.6	60.0	59.3	56.7
露地野菜	51.7	50.0	46.1	56.7	56.5	50.7	54.0	55.4	53.5	56.4	57.5
施設野菜	43.1	51.1	51.7	52.2	50.7	44.9	51.0	51.4	45.5	52.1	52.0
茶	31.5	28.2	41.7	47.8	48.4	35.5	36.1	45.1	38.6	42.7	42.5
果樹	45.1	41.5	42.3	44.1	48.6	46.6	40.9	50.8	51.7	55.3	44.5
施設花き	46.7	39.1	37.1	48.3	39.2	38.2	50.0	55.6	54.9	47.7	42.6
きのこ	44.7	57.9	56.3	54.2	46.4	52.9	50.7	69.1	59.3	53.1	53.1
酪農(北海道)	33.2	42.2	51.9	53.1	54.5	57.0	53.0	55.0	36.9	33.5	40.7
酪農(都府県)	46.1	48.5	56.6	59.6	59.7	63.5	58.7	58.5	42.9	42.8	47.8
肉用牛	42.5	50.4	61.7	57.3	52.3	55.6	52.9	57.5	48.5	38.1	40.4
養豚	60.2	68.7	67.5	68.3	70.2	58.5	64.1	64.5	48.1	59.0	55.1
採卵鶏	51.5	47.2	64.6	66.0	59.0	48.1	59.3	63.4	46.7	57.1	48.7
ブロイラー	43.4	45.5	56.1	57.9	69.2	57.5	65.8	55.8	49.1	51.9	39.3

※設備投資予定ありの比率は調査実施当年中の設備投資を「実施済み」とする構成比と「予定している」とする構成比を合計したもの

## 8. 昨年と比べた今年の設備投資額の見込み

■ 増加する      ■ 同程度      □ 減少する

